

忘れ、ぼい星の話



作・絵 atom



あるところに、
とにかく忘れっぽい人たちの
住んでいる星がありました。

たとえば、お塩を置いた場所がぜんぜん思い出せません。部屋中探しまわります。





ずいぶん探してまわったら、
せっかくゆでたジャガイモが
すっかり冷めてしまいました。

たとえば、大好きな恋人との待ち合わせ。すっかり忘れて鼻歌まじり。





やっと気づいた電話口では、
彼女にたっぷり怒られました。

ほかにもたくさん。

とにかく忘れっぽい人たちです。



ある日、星中の人たちが
みんなの誕生日を忘れてしまいました。





お祝いのケーキも、

プレゼントの山も、



なくなりました。



今日誕生日だった男の子は、
誰かに祝ってほしくて、悲しくて、悲しくて
たくさん泣きました。



みんなの涙は、
どんどんどんどんたまっていって、
その星には、
広い広い海ができました。